

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三次会場】

### テーマ

- (1) 三次市文化会館の跡地利用
- (2) 防災情報システムの確立
- (3) 通学児童・生徒の交通安全施策の拡充

平成26年7月24日(木) 会場名 三次コミュニティセンター

意見・要望	回答
<p>① 文化会館の跡地利用を中心とした、今後の三次町のまちづくりについては、3年にわたりワークショップを開催し、基本構想をまとめた。その概要については、町民の皆さんへチラシ等が配布されているが、この機会に文化会館の跡地利用そのものについて、具体的に説明していただき、意見交換をしたい。</p>	<p>本年2月に「三次地区のまちづくりを考える会」で「文化会館の跡地利用および拠点整備の基本構想」をまとめられ、これを受け、現在市では基本計画を策定しています。</p> <p>具体的には、情報案内機能、まちめぐりの発信地機能、体験アミューズメント機能、歴史・文化の伝承機能、地区内外の交流・まちづくり貢献機能、一部防災機能を備えた約1,000㎡の建物を計画しています。</p> <p>特に、三次地区の住民の皆さんが集えるスペースをとの要望を踏まえ、約100㎡の地区交流活動スペースを設け、多様な利活用の場となるよう検討していきたいと考えています。</p> <p>この施設は観光交流を拠点とした施設であり、観光客の皆さんに尾関山や本通りも含め三次町全体を回遊していただき、三次町全体が活気を帯びてくるような、三次町全体を三次町まるごと博物館として今後とも整備を進めていきたいと考えています。(本年12月には文化会館を閉館し、その後建設工事を開始する予定)</p> <p>補足として説明しますと、基本構想の概要(案)については、本年1月に三次地区の全戸へチラシを配布し、「広報みよし」3月号にも掲載、その後、まちづくりを考える会へ基本計画の策定素案を提示し、2回の意見交換を実施したところです。8月には三次地区の皆さんにも基本計画(案)の概要をまとめたチラシを配布し、三次市ホームページでも閲覧できるようにしています。今後は最終的な基本計画(案)の形にし、三次地区の住民の方々からも意見をいただき、議会へも説明していきたいと考えています。</p>

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三次会場】

### テーマ

- (1) 三次市文化会館の跡地利用 (2) 防災情報システムの確立  
 (3) 通学児童・生徒の交通安全施策の拡充

平成26年7月24日(木) 会場名 三次コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>② 防災情報伝達システムについて、取り組みの現状を教えてください。</p>	<p>三次市ではこれまで、災害時の情報伝達システムとして、合併前の8市町村の情報伝達方法（CATVの音声告知放送，NTTのオフトーク放送，防災行政無線）により運用していましたが，防災行政無線のシステム機器の老朽化，オフトーク放送のNTTのサービス終了により，情報伝達システムの見直しが必要となり，平成25年度から3年間で市内全域に「防災・行政情報伝達システム」として，CATVの音声告知放送の整備を行っているところです。</p> <p>その他，災害時には，緊急一斉メールの配信や，台風のように事前に情報がわかるものについては各住民自治組織への連絡，場合によっては消防団と連携して直接広報車で放送するなど，状況に応じ，多様な手段により住民の皆さんへ情報をお伝えしています。</p> <p>各自主防災組織の皆さんには，自分たちで避難場所を考えていただき，常会等の細かい単位での防災マップの作成をお願いしています。平成25年度から3年間にわたり，「緊急地域防災力強化事業」として，毎年4,000万円の活動補助も行っています。これらをしっかり活用していただきながら，自分たちの命を自分たちで守る自助・共助の取り組みも進めていただきたいと思います。</p> <p>そのほか，要支援者の方については，現在民生委員さんの協力を得て，住民自治組織への情報提供の仕組みづくりを進めています。</p>
<p>③ 通学路である三次高野線について，これまでも整備していたが，今少し点検し，道路の拡幅や草でおおわれている部分の舗装の整備をお願いしたい。</p>	<p>三次高野線については，道路管理者である県により平成24年度に一部歩道の改良を行っています。また，平成23年度・24年度には，保護者，学校関係者，警察，県（道路管理者）等で合同点検を行っていますが，今年度5月に，警察庁，文部科学省，国土交通省から，通学路の安全確保のためのシステム構築について計画</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三次会場】

テーマ

- (1) 三次市文化会館の跡地利用 (2) 防災情報システムの確立  
 (3) 通学児童・生徒の交通安全施策の拡充

平成26年7月24日(木) 会場名 三次コミュニティセンター

意見・要望	回 答
	<p>策定するよう通知も出されており、今後の整備について引き続き関係者の皆さんと検討をしていきたいと考えます。</p> <p>また、市政懇談会の各会場で、県道や河川に係る要望等が出されており、広島県北部建設事務所と協議し、現地にも行かせていただき、可能な限り対応できるよう努力していきたいと思います。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>平成26年10月15日に広島県北部建設事務所長に要望し、要望の区間については、三次中学校や河内小学校の通学路であり、現在の歩道は狭小であるため、次期道路整備計画に位置付けを行い整備が進められるよう、今後においても要望を行います。</p> </div>
<p>④ 緊急一斉メールについて教えてほしい。</p>	<p>緊急一斉同報システムは、あらかじめメール登録していただき、三次市から災害に伴う情報（例えば大雨による警報、避難勧告や避難指示等）をお届けするものです。【登録方法：市政懇談会資料P.29掲載】</p>
<p>⑤ 三次中学校には駐車場が少なく、子どもの急病などで学校に行っても駐車場に困る。中学校の周辺の遊休地を貸したり売ったりしてもいいという話も聞いており、駐車場を整備してほしい。尾関山公園を中心とした観光客のための駐車場にもなる。</p>	<p>グラウンドを含めた中学校の敷地の最大限の活用をまず検討したうえで、さらに必要という事であれば、学校と相談しながら近隣の公共用地の活用について検討したいと思います。</p>
<p>⑥ 子どもの通学路の安全対策のため、大内通りを再点検してほしい。</p>	<p>国道375号の歩道について、三次町交差点から太才町交差点までの歩道が非常に狭いことは十分承知しています。広島県と協議し、電柱の移動や溝の蓋かけなどの対応もしていますが、全体的な整備として進んでいないのが現状です。</p> <p>道路管理者である広島県からは、どういう整備が可能か、地域の皆さんのご要</p>

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三次会場】

### テーマ

- (1) 三次市文化会館の跡地利用 (2) 防災情報システムの確立  
 (3) 通学児童・生徒の交通安全施策の拡充

平成26年7月24日(木) 会場名 三次コミュニティセンター

意見・要望	回 答
	<p>望等を踏まえ、協議の場を設けながら検討したい、また、交差点に道路照明がない部分もあり、歩道の整備と合わせて検討していきたい旨聞いています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>現道内での歩道修繕工事の実施に向け、市や地元自治会の協力を得て、検討会で「整備の原案」を作成していただきました。これを受け、次のスケジュールで取り組む予定です。</p> <p>平成26年 : 実施計画策定, 測量・詳細設計                      平成27年～: 工事</p> </div>
<p>⑦ 三次市文化会館の跡地利用について、今後整備後に活用方法を変えることがあった場合には、うまく方向転換できるような余裕のある施設の作り方をお願いしたい。</p> <p>また、大型バスを3台か5台以上は駐車できるスペースを三次町に確保してほしい。</p>	<p>拠点施設の使い方については、7月10日の意見交換の際にも、固定せず柔軟に対応できるようにすべき、地域の皆さんが知恵を絞りながら、徐々に内容を充実させていく育成型の施設であるべきではないかというご指摘をいただいております。その点をよく留意しながら進めて行きたいと思っております。</p> <p>基本計画の素案では、アミューズメント体験機能を備えるよう考えており、関心度や効果の持続性、また三次地区の資源の多様性を考え、幅広い内容に応用的に対応できる空間を確保するよう、バランスを取りながら進めさせていただきたいと思っております。</p> <p>駐車場について三次地区拠点整備基本計画(案)の中では、大型バス3台程度確保できるように考えています。今後、具体的な設計の中で、小型車、大型車または路線バスについても検討していきたいと考えています。</p>

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三次会場】

### テーマ

- (1) 三次市文化会館の跡地利用 (2) 防災情報システムの確立  
 (3) 通学児童・生徒の交通安全施策の拡充

平成26年7月24日(木) 会場名 三次コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>⑧ 緊急地域防災力強化事業に関し、備品については現物配布ではなく現金で、各町が自分たちの地域に合ったものを購入し、地域を守るために活用させてほしい。</p>	<p>三次市ではこれまで、災害時の緊急的な備蓄品の整備がなされていませんでした。そのため、まずは、緊急的に備蓄品の整備をしていくというものです。現金支給については一端持ち帰り、改めてお返しします。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本年度、各コミュニティセンターへの基本的な備品の配布とは別に、市全体で1,000万円を補助金として出します。河内地区では38万円を配分する予定です。</p> </div>
<p>⑨ 三次再生のツールの一つにぜひ桜を生かし、そしてオール三次で取り組める計画を作ってほしい。</p>	<p>今年度、(仮称)三次市花の里市民会議を立ち上げ、住民自治組織を中心に、ボランティアやNPO、企業の皆さんと協働して桜を中心とした里づくりを進めて行きたいと考えています。市民と行政の協働の取り組みの中で、花の里の実現に努力していきたいと思っています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>現在、市民会議の立ち上げや、桜植栽の適期である2月から3月に向けて住民自治組織、NPO法人、任意団体を対象とした補助金交付の準備を進めています。</p> </div>
<p>⑩ 遠方から通院する高齢者の方が、運転できなくなり、使いやすい公共交通機関がないため受診をあきらめ、その結果、悪化してから受診するという悪循環となっている。              また、身近なかかりつけ医に相談したいと思われる方も多く、地域公共交通の利便性を向上させ、通いやすい環境を作ってほしい。</p>	<p>人口減少、高齢化が進展する中で、公共交通の課題は大変大きく、空気を運んでいる、利便性が悪いなどの指摘もいただいています。地域の特性に応じた交通手段として、市民タクシーやデマンドタクシー、市街地循環バス「くるるん」などを今後どのように組み合わせていくか、また、市民の皆さんのアンケートや実態調査も踏まえながら、今年度、持続可能な公共交通網を形成するため交通計画を見直すように検討しています。</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三次会場】

テーマ

- (1) 三次市文化会館の跡地利用 (2) 防災情報システムの確立  
 (3) 通学児童・生徒の交通安全施策の拡充

平成26年7月24日(木) 会場名 三次コミュニティセンター

意見・要望	回 答
	<p>今後、三次市の交通の指針となる公共交通網形成計画の策定を計画しており、その策定の過程において、まちづくりと一体となった公共交通網のあり方について検討することとしています。</p>
<p>⑪ 広島大学の杉山教授から、慢性関節リウマチの原因の半分くらいは喫煙であるという話を聞いた。新しいシンボルとなる新庁舎を喫煙できる環境にしてほしくない。</p>	<p>三次市健康増進計画の中で、禁煙を進めて行くとしており、それをめざしていかなければならないと思っています。新庁舎における禁煙については、現在、最終調整の段階です。いずれにしても将来に向けて、健康増進計画を目標にしていくことは当然であると思っています。</p> <p>このほど新設した市役所本館の業務開始に合わせ、11月25日から本庁の敷地内を全面禁煙としました。</p>
<p>⑫ 時差式交差点（願橋・市立三次中央病院）について、赤信号の下に右折の矢印を出すようにすれば渋滞が少しは解消する。警察へは老人会から何回か申請したが、行政からも動いてほしい。</p>	<p>行政からも、三次警察署を通じて要望していきたいと考えます。</p>
<p>⑬ 旭橋の高低差の改良を早急に望む。</p>	<p>旭橋の高低差については、地元の皆さんと協議させていただいている途中ではありますが、現在暫定的な計画として、多少家屋の移転もしていただきながら、交通安全に配慮した計画としていきたいと考えています。</p> <p>本年5月27日、8月5日に寺戸自治会への説明会を開催しました。市の方針として、暫定的に視距改良、法線改良の計画を提案しましたが、</p>

会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三次会場】

テーマ

- (1) 三次市文化会館の跡地利用 (2) 防災情報システムの確立  
 (3) 通学児童・生徒の交通安全施策の拡充

平成26年7月24日(木) 会場名 三次コミュニティセンター

意見・要望	回 答
	<p>地元の了解に至っていません。                      提案した暫定計画を基に縦断勾配等の修正を検討しています。</p>
<p>⑭ 三次高野線の歩道について、お年寄りが押し車を押して歩かれるときに危険であるので、早めになおしてほしい。</p>	<p>三次高野線の歩道の高低差については、道路管理者である広島県も一緒に現地を見て、検討させていただきます。</p> <p>平成26年10月15日に広島県北部建設事務所長に要望し、次のとおり回答がありました。                      歩道の幅員が狭いなか、また、小学校の通学路であるため、より歩行者の安全性を図るために車道から一段高い位置に歩道を設置しています。当面はご理解をいただきたい。</p>
<p>⑮ 自分は民生委員をしているが、福祉担当の職員は、もう少し地域へ出て、どんなお年寄りがおられるか把握していただきたい。</p>	<p>民生委員さんの活動には日頃高齢者の方が地域で安心して暮らせるよう、見守りなど大変お世話になっています。</p> <p>地域でのお年寄りの生活をいかにして支えていくかについて、大きな課題としてとらえています。福祉担当の職員が、自治会の皆さんとまちづくりの視点で勉強させていただきながら政策の中で生かしていきたいと思えます。また、個別の問題や相談がありましたら、遠慮なくご連絡をいただきたいと思えます。</p>
<p>⑯ 太才町に5年位前から空き家になり、崩壊寸前で危険な家屋がある。市へは何回も対応してほしいと言ったが、三角コーンを道路に置く程度である。皆さんの命がかかっており、持ち主を調べきちんと対応してほしい。近くには稲生武太夫の石碑</p>	<p>本件については、土地と建物の所有者が違い、建物の所有者はすでに亡くなっています。建物について、相続権者の一人とお会いすることもでき、担当課から再三再四解体除去を強く求めています。相当数の相続権者がおられる中で、なかなか話が前に進んでいない状況です。</p>

## 会場別テーマに関連する意見及びその他意見・要望と回答【三次会場】

### テーマ

- (1) 三次市文化会館の跡地利用
- (2) 防災情報システムの確立
- (3) 通学児童・生徒の交通安全施策の拡充

平成26年7月24日(木) 会場名 三次コミュニティセンター

意見・要望	回 答
<p>や尾関山公園，鳳源寺などがあり，訪れた観光客にも恥ずかしい。</p>	<p>ただ，現場は切迫した危険な状況であることから，緊急に安全措置をとるよう考えています。また，相続権者の方と今後どう話を進めて行けばいいか弁護士と相談しています。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>本件については，最低限の緊急安全措置として，平成26年9月3日，市が建物の一部を撤去し安全対策を行いました。</p> </div>
<p>⑰ 森林の施業が進んでいないのは，山林の境界確認ができないことも要因の一つであると思う。現在の地籍調査の事業がどのように進んでいるのか。</p>	<p>本市の山林部は，現在742.58㎏あり，このうち地籍調査が完了し登記まで済んだものが，54.56%です。地籍調査は補助対象事業ですが，さらに市費を相当額追加し事業を実施しています。</p> <p>現在調査中の面積が78㎏あり，これを含めた進捗率は約65%であり，現在のペースを進めると完了まであと30年近くかかることとなります。また，新しく着手する地区については，現在，三次市単独で「地籍先行調査」を考えており，今年度はモデル的に何地区かで実施し，早期に要綱を定め，来年度は希望地区を募りながらしっかり活用していただけるよう取り組んでいきます。</p>